

大槻重之著

インドネシア専科

第7巻 社会編 上

表紙絵清原 嘉彦

サロンを着た女性像。涼しそうな一時ですね。ワルシー君は、我が寮のチーフ・コックさん。気の強い、責任感の強い中部ジャワの御出身の、いい娘さんでした。

まえがき(社会編上)

インドネシア人という国民はいてもインドネシア人という民族はいない。インドネシアには多くの民族から成り立つ国であるというのが私が最初にインドネシアに接した数十年前の発見であった。

日本国民＝日本民族という既成概念でインドネシアを見ることはできない。世界を見るにほとんど一民族からなる日本の方が特殊であるという事実の確認は世界の民族問題を考える契機になった。インドネシアを触媒にして世界を見ることができるようになり、ひいてはインドネシアという鏡に写して日本人のことを考えるようになった。

日本人の容貌は中国人、朝鮮人に似ているが、気質・行動では日本人とインドネシア人が似ているのは何故だろうか疑問に思った。その共通項として稲作社会を発見したときは嬉しかった。「第 3 章稲作共同社会」としてまとめている。

私の執筆した「インドネシア専科」は全編にわたり、実は人が集めたいろいろな情報を私なりの整理方法で集大成したものである。その後、インドネシア関係の資料をすべて処分しており、今となっては個々の出典は確かめようがない。インターネットからも多くの情報を得た。「インドネシア専科」はこの意味でいろいろな箇所からの剽窃であると言われても仕方がないことを自覚している。

しかしこの中でもし「インドネシア専科」に私のオリジナリティがあるとしたら『社会編(上)』の部分であるということだけは自信をもっていえる。今回、読みなおしてかなりユニークな自説を展開していることに気恥ずかしくも思うが、再度、検証する時間も気力もない。

とにかくインドネシアを通して私は随分と色々なことを勉強できたことを懐かしく思い出している。

2008年5月著者しるす

インドネシア専科

編者前書き

2018年に亡くなった大槻重之さんから、この「インドネシア専科」をもう一度インターネットに挙げてほしいと生前依頼されたのでここに編集して掲載するものである。

編集にあたって、巻末の注を脚注に異動し、必要に応じて「編者註」も追加したものである。

図と写真は編者が作成・撮影して本文に追加したものである。

2019年6月

編者 田口重久 <omdoyok@infoseek.jp>

【社会編（上巻）目次】

F-1 インドネシア民族の出自		593. ゴトン・ロヨン	35
563. マレー系民族の広がり	7	594. ムシャワラ/話し合い	36
564. 大陸からの移住	8	595. バリの村落	37
565. プロト・マレー系	9	596. バリのスバク	38
566. 先住民族	10	597. 隣組/R T	29
567. 身体的特徴	11	598. アリサンの集い	30
568. 双系社会	12	599. オレオレ社会	31
569. 女性上位社会	13	600. 稲作の変貌	32
570. 姓のない名前	13	601. 水田と畑の差	32
571. インドネシアの二面性	14	602. イモ社会との対比	43
F-2 インドネシア人の民族性		F-4 諸民族とその社会	
572. インドネシア人の性格	16	603. 民族の性向	45
573. 家族主義	17	604. 怒りのアチェ人	46
574. 面子へのこだわり	17	605. 沿岸マレー人	47
575. アモック/狂気	18	606. ムラユ語	47
576. トランス/恍惚状態	19	607. いかついバタック人	48
577. 迷信深い	20	608. 食人慣習	49
578. 縁起をかつぐ	21	609. ミナンカバウ人	50
579. ゴムの時間	22	610. 母系社会	51
580. プーラン・プーラン	23	611. ムラントウ/異郷への旅	52
581. 計算はキラキラ	24	612. 歌うスンダ人	53
582. YES と NO のあいまいさ	25	613. スンダ文化	54
583. 微笑みの挨拶	26	614. マドゥラ人	55
584. 握手の作法	27	615. シリウのブギス人	56
585. ティダ・アパアパ	28	616. マカッサル人	57
586. 口承文化	28	617. 海外への雄飛	58
587. 公衆道徳の低さ	29	618. トラジャ人	59
588. アダット/慣習	30	619. トラジャの葬式	60
589. 日本人との共通性	31	620. ミナハサ人	61
		621. フロレス島の民俗	62
F-3 稲作共同社会		622. アンボン人	63
590. 灌漑の風景	33	623. 資源保護のサシ	64
591. ジャワの農村	34	624. ダヤク人	65
592. 稲作の互助組織	34	625. 首狩の風習	66

6 2 6. パプア系民族	67	F-7 少数民族	
6 2 7. ニューギニア高地人	68	6 5 5. 少数民族とは	96
		6 5 6. スマトラ島のクブ族	96
F-5 ジャワ社会とジャワ人		6 5 7. 離島のムンタウエイ族	97
6 2 8. ジャワ社会の構成	70	6 5 8. 隠れバドゥイ族	98
6 2 9. プリヤイ層	71	6 5 9. ブロモ山のテンガル族	99
6 3 0. サントリ層	72	6 6 0. バリアガ/バリ原住民	100
6 3 1. アバンガン層	72	6 6 1. 湖畔のトゥルニヤン族	101
6 3 2. ジャワ人の性格	73	6 6 2. 漂海民バジョウ族	102
6 3 3. ジャワ語の階級性	74	6 6 3. 吹き矢のプナン族	103
6 3 4. ハルスとカサル	75	6 6 4. 石器使用のヤリ族	104
6 3 5. ジャワ人の生活哲学	76	6 6 5. 彫像のアスマット族	105
6 3 6. ジャワの礼儀作法	77		
6 3 7. 称号・封建性の遺物	78		
6 3 8. ジャワ人の家族関係	79		
6 3 9. ジャワ人の名前	80		
6 4 0. インポリュション	81		
F-6 バリ人と社会			
6 4 1. バリ社会とは	82		
6 4 2. カースト制	83		
6 4 3. バリ人の特性	83		
6 4 4. 寺院との結びつき	84		
6 4 5. オダラン	86		
6 4 6. バリの暦	87		
6 4 7. バリの女性	88		
6 4 8. 子供の誕生	88		
6 4 9. 通過儀礼の削齒	89		
6 5 0. 駆け落ち婚	90		
6 5 1. 火葬・魂の解放	91		
6 5 2. バリの異教徒	92		
6 5 3. バリ社会の変容	93		
6 5 4. 観光芸能への道	94		